

## 令和6年度 学校経営方針・学校経営計画

校長 寺田 良太

<b>基本理念</b>					
<b>第二小学校ウェルビーイングの向上</b>					
子どもたち一人一人に寄り添い、生きがいを感じる学校を目指す。					
時代の変化に柔軟に対応する 古き良き伝統を継承する		付加価値を創造する		地域の拠点となる学校にする	
これからの予測困難な時代の中で、教育活動で身に付けた力を、どのように使うか、生かしていくか、応用していくかが大切である。不安を抱えても、乗り越えようとする創造力が必要である。		一つ一つの教育活動（授業、行事、体験活動等）において、どのような力を育てようとしているのか、どのような変容を目指しているのか、教師が授業に対する思いをもつ。		学校と家庭、地域が一丸となって子どもたちの成長を支えていくことが重要となる。家庭、地域の支援を得るとともに、家庭、地域に活力を与える学校にしていきたい。	
<b>思い</b>					
第二小学校に関わる人誰もが幸福を感じてほしい、笑顔でいてほしい。教職員に対しても同じ思いである。激動の時代と言われているが、その瞬間をどう生きるかは、その人次第。それぞれの考え方、生き方一つで、楽しくも、苦しくも、いかようにもなる。それはいつの時代であっても同じこと。過去や他人と比較して、今の自分を悔やむよりも、どう前向きに生きていくかを大事にする人間になってほしい。教職員には、不易と流行を見極め、柔軟かつ確固たる考えをもち、教育活動にあたってほしい。わたしたち教育者が接するのは成長真っただ中の子どもたち。どのような時代においても、一生懸命生きていける「人」を育ててほしい。					
<b>教育目標</b>					
健康で明るい子		進んで学習する子		<b>心豊かで思いやりのある子</b>	
(さくら学級) 進んで体を動かし、元気に活動する子		(さくら学級) 粘り強く学習する子		(さくら学級) 違いを認め合い、仲良くできる子	
<b>目指す学校像</b>					
どのような時代の中でも力強く前進し続ける学校					
<b>児童にとって</b>					
活気・笑顔にあふれ、地域を元気にする学校		学ぶことの楽しさ、学びがいを感じることができる学校		温かい言葉にあふれ、毎日通いたいと思える学校	
<b>教職員にとって</b>					
働きがい・やりがいのある学校			変革を恐れない学校		
<b>目指す児童像</b>					
挑戦することを大切にし、自他のよさを認め合うことができる子					
心身ともに健康で今を楽しむことができる子	基本的な生活習慣を身に付けた子	学力・体力ともに、粘り強く、自ら学ぶことができる子	自分の考えをもち、伝えることができる子	他人の考えを素直に聞くことができる子	自分のよさを見つめることができる子
学校評価「毎日楽しく登校」87.4%以上	チャイム着席による授業開始 100%	学校評価「分からないことがあっても学習を続ける」85.6%以上	学校評価「理解したこと・考えを説明している」64.8%以上	学校評価「自分と違う意見について考えるのは楽しい」66.2%以上	学校評価「自分にはよいところがある」67.9%以上
<b>目指す教師像</b>					
学び続ける教師					
他者に寄り添える教師	児童一人ひとりの人権を尊重する教師	授業改善に励む教師	児童の考えを生かすことができる教師	子どもの変容に気付く教師	柔軟な発想ができる教師
タブレットを活用したSOS 学期1回以上	不適切な指導ゼロ	学校評価「授業がよくわかる」92%以上	学校評価「先生は、よくできたことを伝えてくれている」81.3%以上	いじめ・不登校の早期対応100%	地域や民間企業との連携授業 年1回以上
<b>具体的な取組</b>					
探究的な学びの確立・タブレットPCの効果的な活用・児童理解と対応の共有・指導技術の向上					
児童がSOS・HELPを出しやすい環境・雰囲気	環境面、授業面でのユニバーサルデザイン	学級・学年の垣根を超えた教材研究・日常的な授業観察や授業研究	課題解決的な学習	いじめの未然防止・早期発見・早期対応	地域・民間企業等と連携した授業
楽しみながら体づくりをするしかけ	児童は「〇〇先生」、教員は「〇〇さん」	主体的な研修受講・自己研鑽に励む姿勢	ノート指導の重視	不登校の未然防止・早期対応	ボランティア、外部人材の活用
周囲の意見は傾聴姿勢	朝食、挨拶・返事、時間・決まりやマナーを守る意識、くつ箱、整理整頓	「教科書を学ぶ」から「教科書で学ぶ」へ	発問の工夫、振り返りの視点	日常的な行動観察とアンケートの実施	保護者や地域への情報発信
<b>安全・安心な学校を目指して</b>					
校内見回りと来校者への挨拶	災害時の対応をシミュレーション	節約・節電を含めた当たり前を見直す	記録を残す。(メモ・レコーダー・週案)	迷わず報告・連絡・相談	幼保小中連携による就学・進学への安心
教室移動は教員引率	教科担任制の実施	組織的な対応互いにフォロー	服務事故を防ぐ声の掛け合い	作業を止めて話を聞く	退勤時間の目標設定
不審者侵入ゼロ	第3学年以上で教科担任実施	未使用教室等の消灯100%	個人情報の紛失ゼロ	管理職への未報告事案ゼロ	超過勤務45時間以内を6か月以上100%
新校舎移行に向けた計画的な廃棄の実施	学校図書館の利活用の提案	授業研究 学期1回以上	会議の回数を令和5年度比50%削減	長期休業ワークは購入しない	学校評価「小学校で学んだことを中学校で生かしたい」90.7%以上

※ウェルビーイング・・・身体的・精神的・社会的によい状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念